

拒絶理由通知書

特許出願の番号	特願 2000-037663
起案日	平成15年10月24日
特許庁審査官	田良島 潔 7531 5D00
特許出願人代理人	池内 寛幸 (外 1名) 様
適用条文	第29条第2項

<<<< 最 後 >>>>

この出願は、次の理由によって拒絶をすべきものである。これについて意見があれば、この通知書の発送の日から60日以内に意見書を提出して下さい。

理 由

この出願の下記の請求項に係る発明は、その出願前日本国内又は外国において頒布された下記 of 刊行物に記載された発明に基いて、その出願前にその発明の属する技術の分野における通常の知識を有する者が容易に発明をすることができたものであるから、特許法第29条第2項の規定により特許を受けることができない。

記 (引用文献等については引用文献等一覧参照)

請求項5～7

引用文献1, 2

備考

引用文献1には、光学台の2つの側面の間にミラーを配置して接着固定する発明が記載されている。

引用文献2には、側面中心付近に設けた接着剤溜まりに充填された接着剤により接着固定する発明が記載されている。

なお、平板状のミラーおよびUV接着剤を用いる点は周知 (例、特開平10-320802号公報参照) の事項と認められる。

この拒絶理由通知書中で指摘した請求項以外の請求項に係る発明については、現時点では、拒絶の理由を発見しない。拒絶の理由が新たに発見された場合には拒絶の理由が通知される。

引 用 文 献 等 一 覧

5. 特開平5-314535号公報

6. 特開平7-6533号公報

最後の拒絶理由通知とする理由

1. 最初の拒絶理由通知に対する応答時の補正によって通知することが必要になった拒絶の理由のみを通知する拒絶理由通知である。

この拒絶理由通知の内容に関するお問い合わせ、または面接のご希望がございましたら下記までご連絡下さい。

特許審査第4部情報記録 田良島 潔

TEL. 03 (3581) 1101 内線3550

FAX. 03 (3501) 0715